

2025 年度 一般型入試 第IV期
地理総合 解答用紙

受験番号

【I】

問1： (台地上は雑木林，谷津は水田耕作が行われていたことを指摘する。)

問2： (新田は，江戸時代以降に新たに開発された水田や畑に由来することを説明する。)

問3： 56,250 m² 問4： ウ

問5： ① 図書館 ② 市役所 問6： あ

問7： (手賀沼や手賀沼に流れ込む大堀川，大津川の周辺地域は低地であり，洪水の危険性がある点を説明できれば良い。)

【II】

問8： ア 問9： イ 問10： ア 問11： ウ 問12： エ

問13： (①農家の経営耕地面積は1990年ごろまでに急拡大したが，1990年以降は横ばいである。②1990年以降は，農家数が減少しているため農家1戸あたりの経営耕地面積は増加している。③大規模農家による大規模なキャベツ栽培が行われている反面，小規模農家は経営を維持するのが難しくなっている等が指摘できれば良い。)

【Ⅲ】

問 14：① 熱帯 ② 温帯 ③ 冷帯

④ 乾燥帯 ⑤ 寒帯 問 15：ア C イ D

問 16： (①暖流であるメキシコ湾流が流れている。②ロンドンが海洋性の気候に対してオタワは内陸性の気候である点が指摘できていれば良い。)

問 17： b

【Ⅳ】

問 18： (第 2 次世界大戦による出生率の低下，戦死者・死亡者数の増加等の要因を書けば良い。)

問 19： エ 問 20： エ 問 21： ウ

問 22： (①欧米は 2020 年には高齢化率が 20%を超えて高齢化社会を迎えている。②2020 年以降，欧米の人口の伸び率は高くない。③それに対してアジアでは，2020 年の高齢化率は 10%以下がほとんどである。④しかし，経済発展を遂げているアジアの国々は，2020 年以降急速に高齢化社会へと移行すると予測されている，という点が読み取れていれば良い。)

問 23： イ

出題の意図

(1) 地形図や景観写真，主題図，統計資料等の読み取りを通して，基本的な地理的知識・理解の定着や資料活用能力・地理的技能の習得状況の確認を行うことをねらった。

(2) 与えられた二つ以上の地形図や統計資料を用いて両者を比較検討することにより，地理的事象を読み解く地理的思考力の習得状況の確認を行うことをねらった。

(3) 地理的事象を説明する際に，例えば問 20 のように，いくつかの視点を設定して多面的に考察する力と論理構成の明確さを評価の対象とした。